

研究開発費における 費用対効果の算出

—研究成果の可視化により、資源の最適配分を図る—

- 日 時● 2017年 7月28日(金) 10:30~16:30
- 会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL:03-5215-3516
- 講 師● 浅井技術経営オフィス 代表 浅井 政美 氏

【経歴】1974年3月 富山大学 文理学部 物理学専攻 卒業
 1974年4月 電子計算機メーカーでオンライン・データベースシステム開発に従事
 1979年8月 富士ゼロックス株式会社入社 ワークステーションのソフトウェア開発に従事
 1982年6月 米国、ゼロックス(株) システムソフトウェア開発部 3年間ワークステーションの
 通信関連ソフトウェアの共同開発に従事
 1992年10月 技術企画部 全社技術戦略の策定に従事
 1996年10月 技術開発センター 技術計画部 長期技術戦略策定に従事
 2001年1月 ITメディア研究所 研究戦略策定に従事
 2002年10月 技術企画部 全社技術戦略の策定、R&D ポートフォリオ策定に従事
 2009年4月~2012年3月 R&D 企画管理部 全社技術戦略の策定に従事
 2012年5月~2015年3月 一橋大学 イノベーション研究センター プログラムオフィサー 特任講師
 2015年4月~現在 浅井技術経営オフィス 代表

◆開催にあたって

技術経営の目的は、技術を如何に経営に生かしていくかである。実際は、技術が経営計画あるいは事業計画を担保するための方策を見出すということであり、短期・中期・長期の研究開発テーマへの研究開発費の投入バランスが大きな課題である。課題解決のために、技術の費用対効果を測定することが大変重要である。適切な技術の費用対効果の測定により、研究開発費の投入バランス、重点研究開発領域の特定、技術開発テーマのGO/NO-GOの判断に役立つ。

本講演では、技術の費用対効果に重点を置き、研究開発の費用対効果の実際的な算出法の例、技術体系の構築及び技術ポートフォリオ、研究開発テーマについての分析・評価手法及び管理、見える化の考え方について説明する。

《詳細は裏面をご覧ください》

●受講料● 1名(税・昼食・資料代含む)

正会員	43,200円	本体価格 40,000円
一般	46,440円	本体価格 43,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- よくあるご質問(FAQ)については当会ホームページでご確認いただけます。
〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会

担当：福田 E-mail: fukuda@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。

171348-1001(※)		2017.7.28	
申込書 研究開発費における 費用対効果の算出			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

研究開発費における 費用対効果の算出

●プログラム●

10:30

I. 研究開発とは

- (1) 課題認識と貢献の構造
- (2) 研究開発の評価
- (3) フェーズ管理
- (4) 技術の生産性指標
- (5) フェーズ管理とフェーズ毎のテーマ数及び R&D 資源投入量

II. バリューチェーンと収益

- (1) バリューチェーンと収益の考え方
- (2) バリューチェーン毎の収益と費用の考え方

III. 研究開発資源の最適配分と判断基準

- (1) 事業収益性の分析と投資の考え方
- (2) 研究開発の収益性分析と投資
- (3) 中期・長期戦略での研究開発投資の検討
- (4) 基礎研究における予算配分の決め方
- (5) 応用研究における予算配分の決め方
- (6) 商品開発における予算配分の決め方

12:00

休憩

13:00

IV. 研究開発における費用対効果の算出

- (1) 研究開発での収益と費用の考え方
- (2) 研究開発の売上への貢献度の算出
- (3) 技術の生産性指標を用いた費用対効果
- (4) 売上を商品機能に配賦した費用対効果
- (5) 研究開発の各フェーズの費用算出

V. ポートフォリオ分析

- (1) 技術体系
- (2) 技術ポートフォリオ
- (3) 技術ポートフォリオの分析
- (4) 技術体系をベースにした技術ポートフォリオ分析
- (5) 技術ポートフォリオの課題/限界

VI. まとめ

VII. 演習

- (1) 技術ポートフォリオの作成の演習
- (2) 技術の生産性指標の作成演習

16:30

※講師とご同業の方は受講をお受けしかねる場合がございます。予めご了承ください。